

編集後記：どうやら暑さは、「怒り」を引き起こすようである。人々がなぜ暑いのか理由を求めるのは、怒りを理性で抑えようとする適応行動であると考えられるが、理由を聞いても気温が下がるわけではない。理由として挙げられるものは、日本から遠く離れた西太平洋、インド洋、シルクロードの現象や地球温暖化等、個人としてはいかんともしがたいものばかりだ。

少々古い話になるが、2004年7月20日の関東地方等の猛暑の理由として、私が挙げたシルクロード・パターンが報道された。あるブログには、「日本ってこんなところでもシルクロードとつながっていたんだねえ…」という驚きのコメントがあった。一方、別のブログには、「チベット……！そんな遠くにある高気圧のせいで、灰になりそうな今日このごろ」という虚無感や「だからどうしろというのでしょうか」という冷ややかな怒りが表明されていた。

夏は室内も暑くなる。気候情報課が開いている「気候系診断」が行われる会議室は、夏になると大変暑い。毎月担当の方が工夫された解析を発表され、活発な議論が行われるため、その熱気によって会議室の気温がさらに押し上げられているようにも感じられる。これに対し、天気編集委員会が行われる会議室は涼しいこ

とが多く、終わる頃には鮫肌になる。紳士的な議論が慎重かつ冷静に行われているためであるような気がしてならない。気象庁の廊下には、大きな字で「28℃」という張り紙がしてある。これは地球環境を守るという気象庁の並々ならぬ決意であると思っていたのだが、ある日近づいてよくよく見ると、夕刊紙を思わせる小さな字で「以下」と書いてあった。組合が労働環境の改善を求めるポスターであった。

自らの職場の労働環境にも改善の余地がある。横浜研究所の地球情報館は、ガラス張りの温室のような吹き抜けの建物なので、明らかに冷房コストがかさみそうだ。地球温暖化研究の拠点としては、大変体裁が悪い。屋上で太陽光発電をしているというだけでは、言い訳になるまい。端末室は、環境測定で「二酸化炭素濃度が高い」という指摘を受けていた。温暖化研究は地球シミュレータを使って行われているはずだが、まさか、室内実験もしているのではないだろう。

我々気象学会会員は、異常気象や地球環境問題等の難題を冷静に考えることが社会から求められている。暑さに伴う怒りを抑えて難題に取り組むためには、良い労働環境が必要である。会員諸氏が残暑を快適かつ健康に過ごされることを祈る。 (榎本 剛)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏 (理事)

編集委員 里村雄彦 (理事)・藤谷徳之助 (理事)
藤部文昭 (理事)・古川武彦 (理事)
青柳曉典・池田 徹・榎本 剛
笠原真吾・勝山健一・金田昌樹
上口賢治・川島正行・小出 寛
小林健二・佐藤晋介・小司禎教
関山 剛・高橋 宙・田口晶彦
近澤昌寿・寺坂義幸・中西幹郎
中村 尚・新村典子・林 修吾
平井雅之・藤田 建・別所康太郎
水野 量・山本 哲

地区編集委員 北海道 伊藤道男・渡部雅浩
東北 岡本 創・松本逸平
関東 岡田憲治・庭野匡思
中部 岡田 京・篠田太郎
関西 堀之内 武・松村 哲
九州 中島健介・若林正夫
沖縄 新里博美

編集書記 棚橋 公子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体（図書館も含む）は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619
E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan
Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619
E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp